- アクトネル錠
- ダイドロネル錠
- フォサマック錠
- ベネット錠
- ボナロン（錠·経口ゼリー·点滴静注）
- ボノテオ錠
- リカルボン錠
- ゾメタ点滴静注
- ボンビバ（静注·錠）
- リクラスト点滴静注液
- アレンドロン酸ナトリウム（錠·点滴静注）
- ミノドロン酸錠
- リセドロン酸ナトリウム錠
- ゾレドロン酸点滴静注液
- パミドロン酸二Na点滴静注用
- イバンドロン酸ナトリウム（静注）
- その他

年　月　日から（　年　月　日まで）ビスホスホネート系薬剤を使用しています

⚠ 歯科·口腔外科の先生方へ

患者さんはビスホスホネート系薬剤の治療を受けているか、治療を受けたことがあります。

- 顎骨壊死·顎骨骨髄炎があらわれることがあるので、抜歯等の侵襲的歯科処置はできるかぎり避けてください。
- 処方の変更や中止の要否を処方医にご相談ください。
- 異常を感じた場合すみやかに受診するようにご説明ください。
- 口腔内を清潔に保つよう、ご指導ください。

CODE:NP-T04
2022年10月改訂

歯科·口腔外科を受診する場合はこのカードをご提示ください

私はビスホスホネート系薬剤による治療を受けています

病院名·薬局名（連絡先）

これからこの薬剤で治療される患者さんへ

- 医師、歯科医師と相談の上、できるかぎり抜歯などの歯科治療は、この薬剤の治療を始める前に済ませてください。

この薬剤で治療中の患者さんへ

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ってください。
- 定期的な歯科検査を受けてください。
- 抜歯などの治療はできるかぎり避けるようにしてください。

- 下記の症状があらわれた場合は、医師、歯科医師、薬剤師などにご相談ください。

- あごの痛み
- 歯のゆるみ
- 歯ぐきの腫れ など